議事録

第三十四回研修会

令和四年十二月十日（土）13：08～17：30
zoom にてオンラインで実施

配布書類

・研修会議題
・新規学連役員募集のお願い
・第 66 回　関選　収支報告書 1210
・令和 4 年度前期収支報告
・新人戦関連のご質問への回答（研修会事前アンケート）
・令和 4 年度新人戦　特例選手
・令和 4 年度新人戦アンケート集計結果（暫定版）

計 7 点メールにて事前配布

13:08 会議開始

全日本学生弓道連盟からの連絡事項

・事業報告
- 第 60 回伊勢神宮奉納大会を 11 月 24 日(木)から 27 日(日)の日程で行いました。大会に出場された加盟校の皆さま、大会期間中は運営にご協力いただき、ありがとうございました。

・全国大学弓道選抜大会について
- 来年度の全国大学弓道選抜大会は 2023 年 6 月 24 日(土)、25 日(日)の日程で行います。
- 会場は例年通り、東京都の明治神宮弓道場で実施する予定です。
- 本大会に関する情報は基本的に全日学連の HP から発信させていただくことになりますので、参加される加盟校の皆さまは適宜ご確認いただきますようお願いします。
- 関西地区からは、今年度のリーグ戦的中率上位 9 校が出場することとなっています。

・インカレ大会について
- 個人戦予選は 2023 年 7 月 1 日(土)、2 日(日)に実施する予定です。
- 形式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にかかわらず、オンラインで実施する予定となっております。こちらは今年 8 月の規約改正で既に決定しております。
- 原則としてこの日程で行いたいと考えておりますが、オンライン実施であるため、各地区学連と加盟校との協議によって、この期日より前に行っていただくことも可能です。しかしながら、全国一律で行うことが求められるものでありますので、可能な限りこの日程を空けておいていただきますよう、お願いいたします。
- 本選の会場は近的大会が神戸グリーンアリーナ、遠的大会が神戸グリーンアリーナの隣にある球技場で行う予定で、現在調整を進めております。
- 期日は来年 8 月中旬を予定しております。まだ申請中の段階であるため、正式に決まり次第詳細をお伝えしますが、今しばらくお待ちください。

- 今年は8月10日(水)から13日(土)の日程で行われていましたが、会場の関係でこの日程より後ろ倒しになる可能性がございます。こちらを留意していただいたうえで合宿等の日程を考えていただくようお願いいたします。
- 関西地区での開催ということで、関西地区の皆さまには手伝い役員の派遣、的回収、会場設営などをお願いする可能性がございます。会場設営については、会場の都合で設営日を設けられない場合、深夜に設営を行う可能性も否定できない状況にあります。大変申し訳ございませんが、こちらの点をご留意いただいたうえでご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 詳細につきましては確定次第ご連絡させていただきますので、適宜全日学連のHPをご確認ください。

・部員登録について
- 登録していただいている部員登録の情報が古い、連絡先に誤りがあるなどによって、全日学連から加盟校の皆さまに連絡が届かないという事例が相次いでおります。各加盟校で登録されている情報が正しいものか今一度ご確認ください。
- 全日学連のHPに部員登録のページがあり、そちらからログインしていただくと登録情報が確認できますので、誤りがある場合は変更していただきますようお願いいたします。

・メールアドレスについて
- 部員登録・選手登録については、zennichi.kyudo@gmail.comまでご連絡ください。
- 会計については、zennichi.kaikei.00@gmail.comまでご連絡ください。
- それ以外の事項につきましては、zennichi.kyudo.gkr@gmail.comまでご連絡ください。

・関学連からの連絡事項

・第６６回関西学生弓道選手権大会・令和４年度前期収支報告について
- 関西学生弓道選手権大会での支出が多くなってしまいましたが、数年での収支といたしましてはおよそ50万円の赤字となりました。
- 詳しくは配布資料『第66回　関選　収支報告書1210』『令和４年度前期収支報告』をご覧ください。

・令和４年度リーグ戦表彰式
- Zoom上にてリーグ戦ブロック優勝校・個人的中率上位者・二十射皆中者を表彰いたしました。
- 関西学生弓道連盟より賞状・盾・メダルが授与されます。
- 賞品賞状は郵送準備が整い次第、順次発送いたします。郵送が完了しましたら各加盟校の主将あてにメールを送信いたしますので、ご確認のほどよろしくお願いします。
- 賞品賞状に破損があるなど、何か不具合がございましたら、**メール受信の１週間後まで**に全日女副委員長(zennichi.jyofuku@gmail.com)へご連絡ください。

・関西学生弓道連盟のリーグ編成について
- 今年度のリーグ戦の結果により、下記の通り次年度のリーグ編成を決定しました。ご確認ください。

令和５年度男子リーグ編成表

１部	関西大学、関西学院大学、近畿大学、京都橘大学、立命館大学
２部Ａ	大阪大学、大阪産業大学、同志社大学、奈良県立医科大学、桃山学院大学
２部Ｂ	大阪公立大学なかもず支部、京都大学、甲南大学、神戸大学、天理大学
３部Ａ	大阪教育大学、大阪経済大学、京都産業大学、神戸学院大学、滋賀大学
３部Ｂ	大阪公立大学すぎもと支部、京都工芸繊維大学、兵庫県立大学神戸支部、龍谷大学、佛教大学
４部Ａ	大阪歯科大学、大阪電気通信大学、京都府立医科大学、京都教育大学、奈良大学
４部Ｂ	大手前大学、大阪芸術大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学姫路支部
５部Ａ	京都文教大学、滋賀県立大学、花園大学、姫路獨協大学、和歌山大学
５部Ｂ	京都先端科学大学、京都府立大学、帝塚山大学、奈良教育大学、兵庫教育大学

令和５年度女子リーグ編成表

１部	関西大学、大阪経済大学、甲南大学、立命館大学、同志社大学
２部Ａ	大阪大学、大阪芸術大学、関西学院大学、近畿大学、天理大学
２部Ｂ	京都大学、京都産業大学、京都橘大学、桃山学院大学、龍谷大学
３部Ａ	大手前大学、神戸市外国語大学、滋賀大学、兵庫県立大学姫路支部、佛教大学
３部Ｂ	大阪公立大学すぎもと支部、大阪公立大学なかもず支部、奈良県立医科大学、奈良女子大学、和歌山大学
４部Ａ	大阪教育大学、京都女子大学、神戸学院大学、滋賀県立大学、兵庫県立大学神戸支部
４部Ｂ	大阪産業大学、京都工芸繊維大学、甲南女子大学、神戸大学、帝塚山大学
５部Ａ	大阪歯科大学、大阪電気通信大学、京都教育大学、京都府立大学、同志社女子大学
５部Ｂ	京都外国語大学、京都府立医科大学、神戸女子大学、奈良大学、京都教育大学
６部Ａ	神戸親和女子大学、花園大学、兵庫教育大学
６部Ｂ	京都先端科学大学、京都文教大学、姫路獨協大学

・令和４年度新人戦アンケート集計結果について

- 詳細は配布資料『令和４年度新人戦アンケート集計結果（暫定版）』をご覧ください。
- アンケートにご回答いただきありがとうございました。集計結果に誤りがある場合は、副委員長(kangakuren.fukuincho@gmail.com)までご連絡いただきますようお願いいたします。
- 参加校は現段階では 41 校となっております。対面試合参加可能校が 39 校、オンライン試合のみ参加可能な加盟校が２校となっております。
- 参加不可能な日程がある加盟校は僅かであったため、今年度の新人戦は３月 19 日(日)から４月 23 日(日)の日程で行います。
- 参加不可能な日程がある加盟校につきましては、試合校・審判校間で土曜日を中心に日程調整を行っていただくかたちで対応させていただきます。
- 道場提供校につきましては、収容人数も考慮したうえで決定させていただきます。試合校・審判校の３校の中で道場提供可能な大学があっても、両試合校の人数を収容できない場合はその試合はオンライン開催とします。
- 決勝戦は３つ巴の試合であるため、収容人数の観点から決勝戦の会場は大阪経済大学様の道場とさせていただきます。

- 当初は、決勝戦は第三者校である審判校で行うと発表しておりましたが、今回のアンケート結果を鑑みて方針を転換することとなりました。大阪経済大学様の決勝進出の有無にかかわらず、決勝戦は大阪経済大学様の道場で執り行います。
- なお、決勝戦の審判校につきましては、大阪経済大学様が決勝に進出された場合は準決勝で敗退したいずれかの加盟校に審判派遣を依頼させていただきます。それ以外の場合は大阪経済大学様に審判校兼道場提供をお願いいたします。
- 3 的展開で試合を執り行う場合は、3 人立を 2 つ作っていただき、男子リーグ戦と同様に A チーム前立→B チーム前立→A チーム後立→B チーム後立の流れで進行し、1 立終わるごとに先攻後攻を入れ替える形式で行います。
- ご回答いただいた新人戦アンケートは 2 月 5 日(日)まで修正いただくことが可能です。2 月の主将会議において確定版を配布いたします。

・新人戦特例選手の承認決議について

大学名	特例選手１	特例選手２
京都外国語大学	松本　紗和（２）	河合　宏珠（３）
桃山学院大学	山森　大空（２）	淡路谷　祥真（２）

加盟校　意見・質問はなし。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　46 校

→依って、上記の特例選手の出場が承認されました。

・研修会事前アンケートに関する回答

1.新人戦について

- 研修会事前アンケートに寄せられた質問に回答いたしました。詳細は配布資料『新人戦関連のご質問への回答（研修会事前アンケート）』をご確認ください。
- 一部のご質問につきましては、個別でメールにてご回答をお送りしております。もし届いていない場合は、お手数ですが、副委員長までご連絡をお願いいたします。

14:15 まで休憩

2. 記録会について

- **オンライン開催か対面開催か。またその日程や方針について。【複数の加盟校】**
- 関学連の回答　開催期間の社会情勢により変更の可能性があり、開催形式は現時点では未定ですが、できる限り対面での開催を目指して詳細を検討中でございます。開催形式の最終決定については、遅くとも開催 1 ヶ月前を目途に可能な限り早めのご連絡ができるよう、検討を進めて参りますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。
  記録会の日程は 2023 年 4 月 29 日(土)、30 日(日)を目安として予定しております。

3. 関西学生弓道選手権大会について

- **オンライン開催か対面開催か。またその日程や方針について。【複数の加盟校】**
- 関学連の回答　開催形式については記録会と同様に回答いたしました。日程につきましては、5 月下旬から 6 月上旬で現在神戸グリーンアリーナに申請中でございます。日程が確定次第早めにご連絡させていただきます。

4. リーグ戦について

- **オンライン開催か対面開催か。またその日程や方針について。【複数の加盟校】**

- **関学連の回答**　開催形式については記録会と同様に回答いたしました。日程は9月から10月の開催予定となっておりますが、全日本学生弓道連盟より王座、東西出場校の提出締切日のお知らせをいただくまでは完全に確定させることが難しい状況でございます。来年度の春季を目途に加盟校の皆さまにお知らせできるよう検討いたしますので、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

- **審判員の研修会やマニュアルの不十分性について【関西大学、大阪電気通信大学】**
- **関学連の回答**　審判講習会は例年、審判のマニュアルに反しているミスが目立つため、今年から新たな試みとして行いました。円滑な試合運営を目指し、改善を行ってまいります。また、マニュアルに関しても一部記載不足があり、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

加盟校から寄せられた意見・議題

- **オンライン試合での遅刻の規約改正に関して【関西大学】**

本年度のリーグ戦において、30分以内の遅刻が原因で附矢時間の不平等が起こる事例が発生した。現行規約第七八条では、棄権とみなされる可能性があるのは30分以上の遅刻をした場合のみ規定されており、30分以内の遅刻に関する棄権は規定されていない。しかし、30分以内の遅刻であっても正当性が必要であり、定刻後29分までの遅刻は、附矢の時間や選手の待機時間に不平等が生じるため規定するべきであると考えている。

関学連の見解

指摘の通り、現行規約では30分以内の遅刻について規定がない。こちらは対面試合の場合、試合会場校への移動時間や、会場校到着後に附矢が行われることから、30分以内の遅刻について一概に規定できないためである。しかし、オンライン試合においては、本事例のように附矢の時間に不平等が生じる可能性がある。こうした事態に対処できるよう、オンライン試合における、「30分以内の遅刻」について、詳細を定めるべきである。そこで、以下の提案をしたい。

〈提案〉（①案）

・現行規約第80条1項「団体の遅刻に関しては、規約第六十八条に従うものとする。」の部分の記載ミスについて、68条→78条へ規約を変更する。

・オンライン試合においては、【「定刻」をzoom接続時刻とし、（30分以内、以降は関係なく、）正当な理由なく定刻に遅れた場合は、試合校、審判校との協議のうえ、当該校を棄権とすることができる。】という規定をオンラインマニュアル内に記載する。

関西大学

提案自体には賛成だが、ただ、対面試合の遅刻においても認める必要はないと考える。そもそも、30分という数字が曖昧であり、中途半端に余白を残した規約にすべきではない。オンラインマニュアルに限らず、都学連の規定に倣って規約内に規定するほうがよいのではないか。（②案）

関学連

ご指摘いただいた通り、対面試合においても30分以内の遅刻に関しては正当な理由が必要とするように規約を変更する。それに加えて、オンライン試合のマニュアル内に記載するように対応したいと思う。しかし、現時点では現行規約で30分以上と設定されている理由が

不明瞭なため、改めて確認させていただきたい。よって、関西大学様の②案については、本日は参考程度に意見を伺う程度に留め、関学連の①案のみ議決を行いたい。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　46 校

→依って、①案を採用いたします。

➢　関西大学の②案について、加盟校に意見を伺いました(賛成多数)。再度検討した後、主将会議で改めて議決を取らせていただきます。

〈反対意見〉
京都大学
対面試合においては、30 分以内の遅刻について一概に規定できない。また、オンライン試合のように 30 分以内の遅刻によって不公平が生まれるかといえばそうではないと考える。

滋賀県立大学
本校は道場提供ができずアウェイ校になる、かつ交通アクセスが悪いため、対面試合では移動の問題が大きい。また、現行規約を変える必要性を感じていない。

● **リーグ戦における処分決定に関して【関学連】**
➢　甲南大の遅刻の処分の決定
女子リーグ戦１部リーグ、甲南大学対関西大学の試合において、甲南大学が試合開始時刻を１時間遅く見積もっており、zoom 入室時刻に遅れて入室した（試合開始時刻前に zoom 入室）。こちらについて、遅刻理由の正当性がないこと、附矢時間の不平等が発生していることが問題となり、当該試合を延期する事態となった。本件の遅刻は附矢時間の不平等が発生する可能性のある、深刻な問題であるといえ、処罰なしに試合を延期するべきではない。そこで、関学連としては以下の処分を提案する。

〈提案〉
・罰則金 1 万円と反省文の提出(具体的な形式、文字数については関西大学に一任する。)

関西大学
本校は本事案の当事者ではあるが、処分を下す当事者ではないと考えているため、具体的な形式、文字数については関学連に一任したい。

関学連
本事案は当事者である関西大学様の意見を優先すべきと考えている。そのため、上記提案を「罰則金 1 万円と反省文の提出(具体的な形式、文字数については関学連に一任する。）」として議決を行いたい。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　45 校　反対校　0 校

→依って、甲南大学には罰則金 1 万円と反省文(具体的な形式、文字数については関学連が決定)を提出していただきます。

➢　龍谷大の審判ミスの処分決定
女子リーグ戦１部リーグ順位決定戦、関西大学対関西学院大学の試合において、関西大学から、審判校の龍谷大学へ、男子の試合終了時刻が遅れたことにより、試合開始時刻を 10 分

遅らせたい旨の連絡があった。これによる試合開始時刻の変更について、龍谷大学様は、関西学院大学様に電話を掛けたつもりが、誤って関西大学様の主将、副将に電話をかけており、関西学院大学様は試合開始時刻の変更を知らないまま、zoom に入室した。こちらについて、試合前の付矢時間の不平等が発生したまま、10 分遅れで順位決定戦を開始する事態となった。本件では審判校による情報伝達ミスが明らかであり、附矢時間の不平等が発生している、深刻な問題であるといえる。そこで、関学連としては以下の処分を提案する。

〈提案〉
・罰則金一万円と反省文の提出(具体的な形式、文字数については関西学院大学に一任する。)

関西学院大学
本事案はリーグ戦順位決定戦という大事な試合にもかかわらず、審判校が情報伝達の確認を徹底しなかったことによって附矢の時間の不平等が生じてしまった事案である。本校としては、反省文の文字数は 1000 字以上、内容は部内で再発防止に向けて今後の対策を話し合い、そのことについて具体的に述べていただきたい。

(投票)　会議参加校 46 校　賛成校　44 校　反対校　0 校

→依って、龍谷大学には罰則金一万円と反省文(具体的な形式、文字数については関西学院大学が決定)を提出していただきます。

● **リーグ戦の入れ替え制度に関して【大阪経済大学】**
女子 2〜5 部リーグは、勝率 25%〜0%で入替戦にかかるが、今年の結果を見ても 1 部リーグは、勝率 50%の 4 位校が入替戦にかかっている。これは、他部リーグと比較するとバランスが悪いように感じる。その為、1,2 部リーグの入替戦を 1 部最下位校対 2 部 A,B の最上位校の内の的中上位校により決定する。又は、1 部最下位対 2 部 A,B の最上位校の 3 つ巴による決定はどうか。
〈補足〉
同様の提案が平成 30 年度の研修会で行われており、3/4 の反対で否決されている。
この時の反対意見としては、
・王座に出場できる権利が 1 部にしかないため、2 部以下の大学が王座に出場できる可能性を少しでも高くするために現状の方が良い
・王座に出場できる権利の代償にリスクがあるべき　などが挙げられている。

関西大学
本制度については、関学連の目的の確認や現状の問題点の整理、過去の実証などを行い、一定期間をかけて丁寧に議論を進めるべきであり、現状では判断しかねる。

大阪経済大学
補足に「王座に出場できる権利が 1 部にしかない」とあるが、インカレの優勝校も王座に出場することはできる。2 部以下の加盟校も王座に出場できる可能性は大いにあるのではないか。加えて、今回、公平や不平等の観点で規約を改正されている。本議題の勝率と入替戦の不平等についても対応いただきたい。

大阪公立大学なかもず支部
2部以下のリーグではA,Bブロックがあり、毎年最大4校の入れ替えがある。本提案が可決されれば1部、2部間の流動性が小さくなり、実力が反映されにくくなる。また、3〜6部に比べて2部だけ昇格が難しくなってしまう。

京都橘大学
1部と2部以下では2部以下の方が加盟校の数が多く、研修会内で議決を取ることに不平等さを感じる。また、関西地区の的中率が他の地区と比べて低い現状にあり、関西地区の的中率を上げるための制度を導入すべきである。

関学連
的中率を上げる制度の具体案があれば伺いたい。

京都橘大学
既存の制度より本議題の制度の方がより的中率を求められるのではないかと考えている。

関学連
本議題の制度を導入することで1部と2部の入れ替えの機会が現状より少なくなると思うが、これによって的中率が上がるという点に関してもう少し具体的にお聞きしたい。

京都橘大学
2部のブロック優勝校2校のうち的中率の低い加盟校と1部4位校で入替戦を行う合理性が無いと考えている。現状より、枠を絞って的中率を上げる意識を高めていく方がよいのではないか。

神戸大学
大阪公立大学なかもず支部と同じ意見である。2部以下にメリットがある議題であると理解しているので、この場で話し合うべきではないと感じている。

同志社大学
現時点では賛成か反対かは判断しかねるが、関西地区の的中率を上げるという点に関しては、現行の制度の方が適しているではないかと感じる。

近畿大学
2部以下の加盟校の数が多く、公平さを持つためにこの議題に賛成である。

- 加盟校の皆さまの意見をお聞きして、本会議内で議決を取るのは難しいと判断しました。そのため、今回は加盟校間の意見交換の場に留め、後の主将会議で改めて議決を取らせていただきます。

- **規約四五条の改訂に関して【関学連】**

今年度のリーグ戦において、本会議の議題となったような処分が必要になる事例が発生した。しかし、現行規約では処分の決定に関する明確な規定が無く、役員会での詳細の検討、主将会議での議決が必要となり、処分に多くの時間を要する状況にある。そこで、試合時などに発生するトラブルについて、学連による迅速な対応を可能とするため、以下規約四五条を改訂したい。

・規約四五条（改訂案）
①加盟校が本連盟の目的にそぐわない不都合な行為をなした場合、役員会は本連盟の名においてこれを警告することができる。
②加盟校が本連盟の目的にそぐわない不都合な行為をなし、かつそれが重大な事態である場合、もしくは前項の警告によっても当該行為が改善されないと認められた場合、役員会は当該加盟校を戒告することができる。
③第一項第二項の戒告は次の各号のいずれか、あるいは両方とする。
一、反省文
二、罰金１万円
④その他戒告に関する事項は、細則によって定める。

加盟校　意見・質問はなし。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　44 校　反対校　0 校

→依って、規約四五条の改訂を行います。

● **役員派遣負担金の導入について【関学連】**
役員派遣を依頼する中で、頻繁に役員を派遣している加盟校がいるのに対し、部員数が一定以上いるにもかかわらず、派遣していない加盟校がいるという現状にある。また、昨年度、関西学連では関選の対面開催や、それに伴う安土業者への安土設置依頼、優勝旗の補修、老朽化した備品の新調などにより、支出が大幅に増加し、令和 3 年度は約 50 万円の赤字となっている。加えて、燃料費高騰・物価高の影響によって、今後より一層厳しい運営状態が見込まれる。こうした状況が続けば、今後の大会運営自体が危ぶまれる事態となるため、役員派遣負担金について、以下の通り提案する。

〈提案〉
・現役役員がいない加盟校
　→役員派遣負担金２万円
・現役役員がおらず、部員数が一定数以下の場合
　→連盟費１万円
・現役役員がいる加盟校
　→役員派遣負担金なし

加盟校　意見・質問はなし。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　42 校　反対校　2 校

→依って、役員負担金を導入いたします。

● **関西学生弓道選手権大会　女子４人立案【関学連】**
現状、関西学生弓道選手権大会の女子団体戦において、出場選手は１チーム３名となっている。これは、当時の男女の選手数の違いなどによるものであるが、近年の女子部員数の全般的な増加傾向や、伊勢大会の女子４人立への変更、また、関西学連ではリーグ戦において女子４人立で開催していたことを踏まえ、女子の出場選手を１チーム４名とすることを提案する。これに伴い、立の制限時間、団体戦参加費についても、見直しが必要である。

〈提案〉
・関選の女子団体戦において、１チームの選手数を３人→４人に変更。
・関選の女子団体戦において、立の制限時間を６分→７分に変更。
・女子団体戦の参加費を、１チーム 8,000 円→１チーム 10,000 円に変更

大阪経済大学
現在、団体戦は最大 3 チーム参加可能になっているが、4 人立に変更になっても最大チーム数は変更しないという認識でよいか。

関学連
最大チーム数の変更については考えておりません。

（投票）　会議参加校　46 校　賛成校　36 校　反対校　8 校

→依って、関西学生弓道選手権大会の女子団体戦について、来年度より上記の変更を行います。

加盟校からの質問

・新人戦アンケート集計結果について

- **大阪経済大学の質問**　現時点では決勝戦の道場提供が可能だが、3,4 月時点での社会情勢によって大学当局から制限がかかり、道場提供が不可能になる可能性があることはご了承いただきたい。
  関学連の回答　もし大学当局からの制限が変わった場合はご連絡いただけますと幸いです。

以上